



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 イートアンド株式会社
 コード番号 2882 URL <http://www.eat-and.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 文野 直樹
 (氏名) 皆川 秀一

TEL 03-6402-3961

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,793	1.6	49	△78.6	49	△79.7	22	△85.2
26年3月期第1四半期	4,718	0.7	230	0.5	242	3.8	152	19.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	5.16	5.10
26年3月期第1四半期	40.11	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	10,320	4,362	42.2	994.54
26年3月期	10,498	4,394	41.8	1,001.83

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 4,356百万円 26年3月期 4,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.50	—	12.50	20.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 5円00銭

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,732	△1.1	281	△39.4	284	△40.2	170	△40.1	39.03
通期	21,066	5.0	979	3.1	977	3.0	505	13.9	115.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	4,380,245 株	26年3月期	4,380,245 株
27年3月期1Q	274 株	26年3月期	274 株
27年3月期1Q	4,379,971 株	26年3月期1Q	3,814,271 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げの影響を受けたものの、全体としては底堅く推移いたしました。

一般の消費生活においては、賃金引き上げの動きが消費税率引き上げと相殺される形となったため、消費マインドが大きく改善されるには至っておりませんが、消費の力点は明らかに価格から価値へ転じつつあります。

このような状況の下、当社は料理宅配サービスの企画・運営を手掛けるフードランナー株式会社を子会社化いたしましたほか、外食・宅配・通信販売などのチャネルを統合したGYOZA STATIONの運営を開始し、大阪王将ブランドの展開加速とビジネスモデルの成熟を図っております。

また、東京五輪開催に向けて加速するであろう人手不足への対策として、人材確保・教育体制の強化にも着手いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の当社の業績は、売上高が47億93百万円（前年同四半期比1.6%増）と増収であった一方、首都圏での認知度向上を企図した戦略的な広告宣伝の投下、消費税率改定にともなうメニューブック等の改廃や販促物の投入等の施策を図ったため、販売費及び一般管理費17億13百万円（同18.9%増）を計上したことにより、営業利益が49百万円（同78.6%減）、経常利益が49百万円（同79.7%減）、四半期純利益は22百万円（同85.2%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

①外食事業

外食事業におきましては、消費税率引き上げに伴いメニュー価格を改定しました一方、エリア別のメニュー導入や販促の実施、45周年創業祭メニューの投入などを通して、商品の魅力の維持・向上に努めました。

また、大阪王将の外食既存各店への宅配サービス導入や宅配専門店の開業を進めております。

なお、当第1四半期累計期間におきましては、加盟店13店舗（うち海外1店舗）、直営店1店舗の計14店舗を出店した一方、加盟店9店舗（うち海外1店舗）を閉店した結果、当第1四半期末店舗数は、加盟店393店舗（うち海外19店舗）、直営店39店舗の計432店舗（うち海外19店舗）となっております。

以上の結果、外食事業における当第1四半期累計期間の売上高は、26億37百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

②食料品販売事業

食料品販売事業におきましては、主力商品である冷凍餃子や水餃子のバリエーション増のほか、外食大阪王将店舗で使える割引券を添付し、冷凍食品の拡販とともに外食店舗への誘導を図りました。これにより、昨年末の同業他社での農薬混入事件や消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動などの影響を最小限に抑えることができました。

以上の結果、食料品販売事業における当第1四半期累計期間の売上高は、21億55百万円（前年同四半期比0.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第1四半期会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末より1億77百万円（前事業年度比1.7%）減少し、103億20百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より2億49百万円（前事業年度比4.6%）減少し、52億5百万円となりました。主な要因は、現金及び預金、売掛金の減少および商品及び製品ならびに前払費用の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より71百万円（前事業年度比1.4%）増加し、51億15百万円となりました。主な要因は、直営店新規出店に伴う有形固定資産の取得およびGYOZA STATIONの構築等による無形固定資産の増加、フードランナー株式会社への増資引き受けに伴う関係会社株式の増加によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末の負債の残高は、前事業年度末より1億45百万円(前事業年度比2.4%)減少し、59億57百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末より1億7百万円(前事業年度比2.2%)減少し、47億85百万円となりました。主な要因は、買掛金、未払法人税等、売上割戻引当金の減少および短期借入金の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より38百万円(前事業年度比3.1%)減少し、11億72百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による減少によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末より31百万円(前事業年度比0.7%)減少し、43億62百万円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上および配当による剰余金の処分によるものであります。

この結果、自己資本比率は42.2%(前事業年度末41.8%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月9日付「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表しました業績予想に変更はございません。なお、本資料発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、今後様々な要因により異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社の税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期会計期間より当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算する方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,336,455	1,259,187
売掛金	3,179,171	2,692,797
商品及び製品	479,254	630,362
原材料及び貯蔵品	152,908	141,461
前払費用	169,844	284,933
繰延税金資産	55,334	55,334
その他	81,572	140,973
流動資産合計	5,454,540	5,205,050
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,097,287	2,091,273
土地	1,089,772	1,089,772
その他(純額)	775,973	771,730
有形固定資産合計	3,963,034	3,952,776
無形固定資産	58,304	122,794
投資その他の資産		
差入保証金	528,569	528,076
繰延税金資産	104,099	103,987
その他	407,253	425,370
貸倒引当金	△17,534	△17,534
投資その他の資産合計	1,022,387	1,039,900
固定資産合計	5,043,726	5,115,472
資産合計	10,498,267	10,320,522
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,827,671	1,724,016
短期借入金	840,000	1,175,000
1年内返済予定の長期借入金	199,812	199,812
未払金	983,227	939,443
未払費用	235,700	255,457
未払法人税等	153,450	29,659
賞与引当金	102,136	39,330
役員賞与引当金	20,280	4,960
売上割戻引当金	349,302	232,567
その他	181,629	185,274
流動負債合計	4,893,209	4,785,520

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
固定負債		
長期借入金	86,873	36,920
退職給付引当金	82,216	84,853
役員退職慰労引当金	302,450	306,230
その他	738,947	744,357
固定負債合計	1,210,486	1,172,360
負債合計	6,103,696	5,957,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	907,239	907,239
資本剰余金	839,675	839,675
利益剰余金	2,640,626	2,608,495
自己株式	△293	△293
株主資本合計	4,387,248	4,355,117
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	728	930
評価・換算差額等合計	728	930
新株予約権	6,593	6,593
純資産合計	4,394,570	4,362,640
負債純資産合計	10,498,267	10,320,522

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,718,179	4,793,349
売上原価	3,045,953	3,029,880
売上総利益	1,672,226	1,763,469
販売費及び一般管理費	1,441,239	1,713,961
営業利益	230,986	49,508
営業外収益		
受取利息	249	267
受取配当金	35	36
受取手数料	1,409	1,363
補助金収入	405	340
貸倒引当金戻入額	12,109	—
雑収入	220	559
営業外収益合計	14,429	2,566
営業外費用		
支払利息	2,771	2,523
雑損失	214	292
営業外費用合計	2,986	2,815
経常利益	242,430	49,258
特別利益		
新株予約権戻入益	6,230	—
特別利益合計	6,230	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	190	—
特別損失合計	190	—
税引前四半期純利益	248,470	49,258
法人税等	95,477	26,640
四半期純利益	152,992	22,617

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,563,104	2,155,075	4,718,179	4,718,179	—	4,718,179
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,563,104	2,155,075	4,718,179	4,718,179	—	4,718,179
セグメント利益	193,160	64,442	257,602	257,602	△26,615	230,986

(注) 1. 当第1四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額△26,615千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上 額(注) 2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,637,937	2,155,412	4,793,349	4,793,349	—	4,793,349
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,637,937	2,155,412	4,793,349	4,793,349	—	4,793,349
セグメント利益	29,036	59,575	88,611	88,611	△39,103	49,508

(注) 1. 当第1四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額△39,103千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。